



# 知床の森から



平成元年6月 第4号

## 89 行事予定 森林レクの内容充実を計る

昭和六三年三月一日に「知床森林センター」が開設され、はや一年たちました。

その間、皆様のおかげをもちまして、無事に仕事を進めることができ、本当にありがとうございました。

「知床森林センター」は、森林・林業について、理解と普及を図るために設置されました。

昨年度におきましては、地域の方々との「ふれあい」を大切にし、各種行事への参加イベントの企画などを行い、皆様と知床国有林との掛け橋となるよう努力してまいりました。



今年、発足二年目を迎え、森林生態系保護地域及び森林生物遺伝資源保存林設定にかかっている調査を予定しているほか、ミズナラドングリ

結実等調査を実施いたします。

また、森林教室の開催を増やし、内容もさらに充実し、森林に親しんでいただけるよう職員一同頑張っていきたいと考えております。



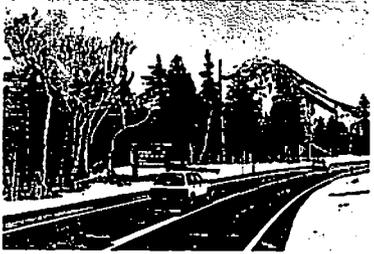
## クマゲラ 今年も営巣する

昨年、三羽の雛が無事巣立ちしました。今年も営巣しないか観察を続けていたところ、四月中旬に知床公園内でダケカンバの木に、巣作りしているクマゲラを見かけました。二羽がお互いに協力して、堅い材面をコツコツと真剣に掘る巣作りの姿には、何か教えられる物があります。掘った木屑を巣口から投げ終わると、一度穴から出て向きを変え、再度穴の中に入る様子はなんとなくユーモラスです。今年は何羽の雛が誕生するか楽しみです。クマゲラの生育調査を続ける事によって、林相・地形と生育状況との関係を研究して、森林と動物の共存を図っていきたいと考えております。

## 知床横断道路開通

マイカーで峠の駐車場あふれる今年、峠の雪も少なく、例年より一週間も早く連休に開通となり、知床横断道路を目指すマイカーで峠は渋滞し、一日中混雑しました。残雪部分では、赤や黄色のウェアのスキーヤーが、最後の滑りを楽しむ姿も見られました。融雪が進むにしたがい、高山植物も顔を出してくるでしょう。

知床峠、道々知床公園線の開通により観光客の入り込む者が増え、春の山火事予防、森林パトロールの強化と忙しい季節になりました。皆様も火の元に充分注意して、山火事防止に御協力下さい。



## 第2回 「親と子の森林レクリエーション・知床」歩くスキー

三月二十八日、知床横断道路知床峠で歩くスキーを行いました。参加者は二十四名、中には家族揃っての参加、四歳の坊やと参加した母親など、北見・美幌・網走・斜里・遠くは西興部からと、広い範囲から参加頂きました。道路周辺の森林分布、アニマルトラック、また、バスの窓からのオジロワシ、オオワシ、エゾシカ等の観察など有意義な一日を過ごして頂きました。参加者からのアンケートの一部を紹介しましょう。○「この度は歩くスキーに参加させて頂き有り難うございました。天候にも恵まれ美しい冬の知床を満喫することができ、とても楽しい一日でした。何から何まで心こもった企画で、色々学習させ

雪晴れの知床峠の風きりて  
長きスロープ一気に下だる  
老同 トキ



て頂き心行くまで楽しんで参りました。またなる機会を楽しみに期待しております。

「冬山に木肌あらわに曝しているシカの餌食となりたる木々の」○「キャンプ、林間学校、山登り等国有林ならではの特徴あるイベントを希望します。大変素晴らしい企画ですので、PRを広く行い参加層を増やしては（特に親子）いかがでしょうか。この活動が北見―道東―札幌―北海道―日本と、広く皆様に理解され、大きなイベントに育つ事を願っています。